

木賢一河川課長は「家族構成や住まいの場所、避難経路などはそれぞれの家庭で違っている。マイ・タイムラインはハザードマップで自宅の水害リスクを知った上で避難行動を考え、作成してもらおう。今年3月末時点で県内16市町村が住民の作成を支援している。県は作成講習会への講師派遣などをを行い、後押ししている」と述べた。(玉虫秀明)

千万円。果樹関連ではサクランボやリンゴの果実に傷が付く被害が確認されており、被害面積や被害額は調査中としている。サクランボの雨よけハウスの全壊・半壊など施設被害は20件、300万円としている。

秋に収穫を迎えるリンゴなどは現時点で被害状況の把握が困難とし、今後、全容の把握に努める。野菜、果樹については出荷調整や摘果・選果の徹底を指導する。(小田信博)

盤も集票を図る。自転車で運動する新人関口由美は知名度不足解消に注力する。2期目を狙う長堀幸朗は集票の足掛かりを引き続き探している。

13日現在の有権者数は1万7532人(男83390人、女9142人)。

数字は当選回数

# 四季の杜

蒼朮を焚きひそやかにすまじやう

煙を浴びることで病を封じると考えられ、梅雨時期には室内で焚かれていた。夏に入れば衣替えを、梅雨の人は梅雨支

藤靖子

さらなる申請増加を目指す」と述べた。

## 補正予算など12議案可決

**東根** 本会議を開き、市税条例の一部改正や追加提案された2022年度一般会計補正予算など12議案を原案通り可決した。水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願1件を採択、国に意見書として提出することを決め、閉会した。補正は新型コロナウイルスワクチン予防接種事業5036万円などで3億3970万円を追加し、総額241億5769万円とした。

## 日本海ヘルスケアネット

### 酒田市として加入

### 市長がめざす意向

丸山至酒田市長は16日、庄内地域の地域医療連携推進法人・日本海ヘルスケアネットに「酒田市」として加入を目指す意向を示した。行政と医療機関の連携をより強固にし、地域包括ケアシステムの構築に結びつけたい考えだ。

同日開かれた市議会6月定例会本会議で、斎藤美昭議員の一般質問に答えた。同ネットは、日本海総合病院を運営する県・酒田市病院機構をはじめ11法人で構成する。市は病院開設者の立場から一定の役割を担ってきたが、丸山市長は「行政として日本海ヘルスケアネットの一員になれば、庄内全体の行政、医療機関、社会福祉法人などを巻き込み、地域一体で包括ケアシステム構築を目指す動きにつながられる」と強調。「医療の担い手確保についても、看護専門学校を有する自治体として、各法人と連携しながら主体的に取り組むことができる」と述べた。市は今後、同ネット加入について構成法人の同意を得られるよう、意見交換の場を設けるとしている。(吉村瑛人)

ネズミは歌を知っている

ますます殖えている  
ネズミ・ゴキブリ・白あり

## 無料相談会(予約制)

年金全般と職場でのトラブル等に関する相談会

開催日/毎月第2・第4土曜日開催

時間/9:00~13:00

会場/山交ビル8階  
社労士会事務局内相談室

## 内科・循環器内科・消化器内科 まつだクリニック

イオン山形北店 ●ブックオフ

●当院 ●タイヤ館  
●職安 ●山交ハイヤー

## 小林 接

◆施術時間/午前8時30分~午後3時  
午後3時~8時

◆休業日/木曜のみ日・祝も

山形市大字渋江1-19 明治地区  
0903-984119

家内安全・厄除・交  
初宮・地鎮祭・安